

被災地復興から持続可能な助け合い送迎への移行を目指した、住民主体の仕組みづくり

メンバー

実施者：特定非営利活動法人 移動支援Rera

連携団体：石巻市、東松島市、女川町、NPO法人 いわて地域づくり支援センター、NPO法人 地星社、(株)フィラメント、(株)NECソリューションイノベータ、NPO法人 全国移動サービスネットワーク、(一社)日本カーシェアリング協会、他

活動目的

移動手段がなく外出を諦めている住民が、気軽に外出できる持続的な仕組みを生み出すことで、地域の高齢者や障がい者等、復興に取り残された要援護者が前向きに暮らしを楽しみ心身の健康を維持できる、希望の持てるまちを作る。

※2011年の東日本大震災では、この地域で約6,000人の死者・不明者（震災全体の1/3）、6,000台の車両流失



対象地域の概要

対象地域：宮城県石巻地域（石巻市、東松島市、女川町）
（人口） 約188,500人
（世帯数） 約81,000世帯 **（高齢化率）** 31%

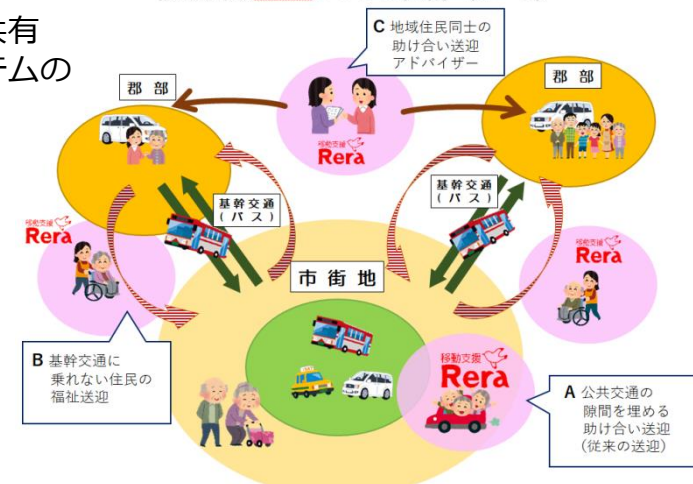


取り組み内容

- ① 移動困難者の実態調査
- ② 調査分析と課題の洗い出し・共有
- ③ 持続可能な乗り合い送迎システムの開発・実証実験



移動支援Reraの3つの役割（A～C）



2019年度の活動実績

- ・ 宮城県石巻地域の移動困難者の実態調査：モデル地区3か所を含む合計約850の回答を得、住民の移動に関する危機感や課題感を共有

期待される成果

- ・ 高齢者や障がい者等の要援護者が積極的に外出することによる心身の健康維持
- ・ 行政やNPO等多様な担い手の連携促進による、住民の包括的な見守り体制構築

アピールポイント

- ・ 東日本大震災直後から、毎月1,000名以上の移動困難者を送迎し、地域の移動困難者にとって必要不可欠となりつつある。今後は地域に根差した持続可能な移動手段を構築する。